

YP-400

NATURAL SOUND SYSTEM MODEL YP-400
GUIDE MANUAL

ヤマハステレオレコードプレーヤーシステム
取扱説明書



 **YAMAHA**

● ご挨拶

このたびはヤマハステレオレコードプレーヤーYP-400をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。

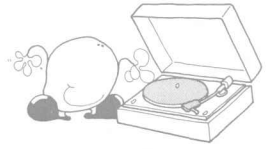
YP-400はさきにオーディオ専門誌によるベストステレオコンポグランプリで、プレーヤー部門賞を受けた高級機YP-700の基本的技術を受けつぎ、より使いやすく設計製作された製品です。高精度の工作技術と精巧なメカニズムによる高S/N、さらに世界的に定評あるシュアーM75カートリッジつきで、性能は抜群のレコードプレーヤーです。

YP-400を長年にわたってお使いいただくため、この取扱説明書をご使用前に是非お読みくださいますようお願いいたします。

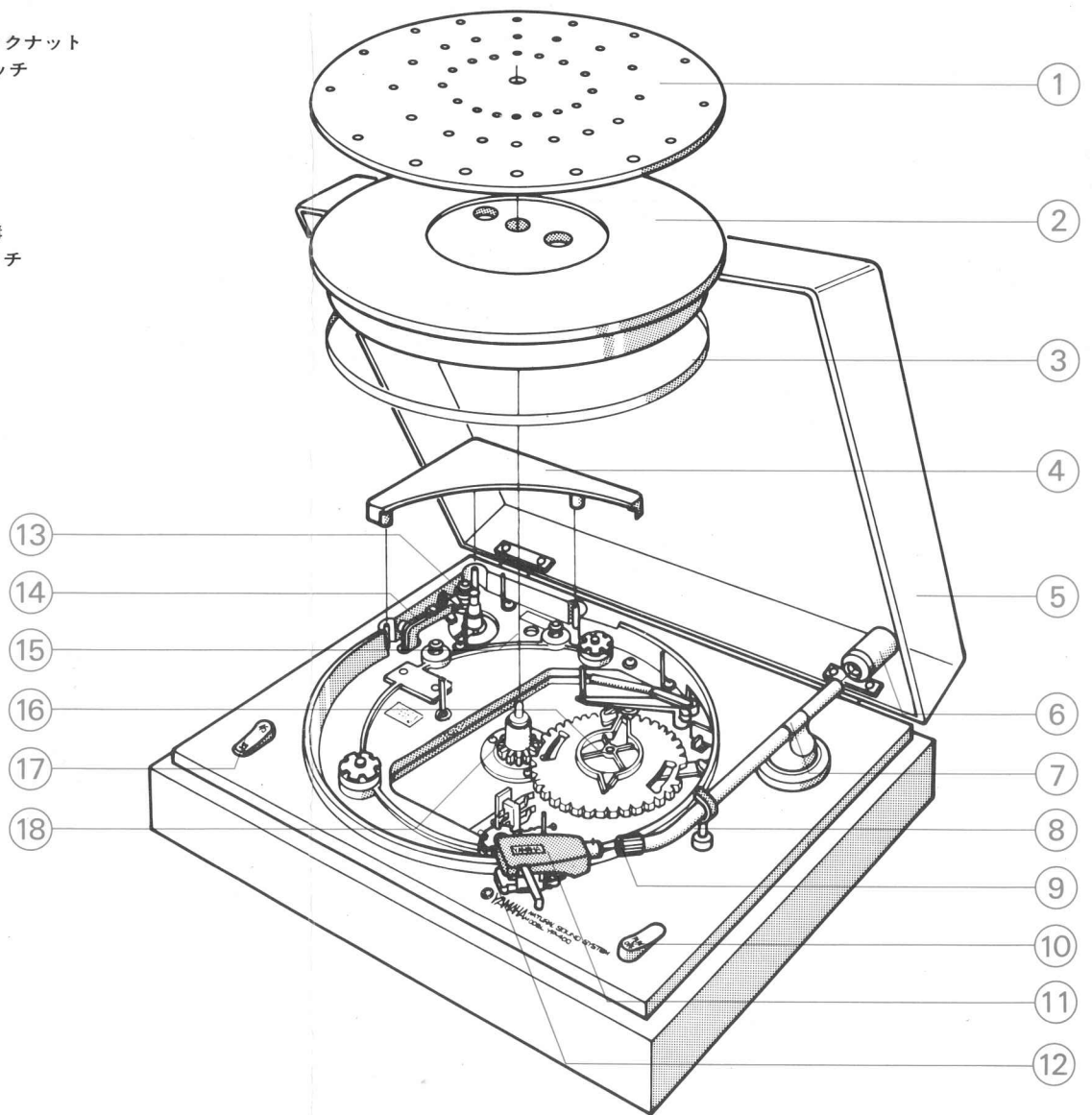
● 目次

プレーヤー各部の名称	3
規格・付属品	4
特長・ご使用になる前に	5
プレーヤーの組立にあたって	6
ベルトのかけかた・トーンアームの組立	7
針圧調整のしかた	8
アンプへの接続・レコード演奏のしかた	9
他カートリッジを使用するときは	10
針先の交換・保守	11
故障と思われる時には	12
サービスのご依頼について	13

プレーヤー各部の名称



- ① ゴムシート
- ② ターンテーブル
- ③ ベルト
- ④ ベルトカバー
- ⑤ アクリルカバー
- ⑥ メインウェイト (カウンターウェイト)
- ⑦ トーンアーム
- ⑧ アームレスト
- ⑨ ヘッドシェル・ロックナット
- ⑩ PLAY & OFFスイッチ
- ⑪ ヘッドシェル
- ⑫ カートリッジ
- ⑬ モータープーリー
- ⑭ ベルト切替ガイド
- ⑮ 注油口
- ⑯ オートリターン機構
- ⑰ スピード切替スイッチ
- ⑱ センターシャフト



規格・付属品



●規格

■ターンテーブル

モーター	4極シンクロナス
ターンテーブル径	30cmアルミダイキャスト
回転数	33 $\frac{1}{3}$, 45rpm 2スピード
駆動方式	ベルトドライブ
支持型式	M.V.O.ダブルフロート
SN比	48dB以上
ワウフラッター	0.08%以下

■トーンアーム

型式	トータルマスバランス センターグラビティ方式 (スタティックバランス型)
トラッキングエラー角	最大 $\pm 1^\circ$
全長	290 $\frac{mm}{m}$ (サブウエイト+23 $\frac{mm}{m}$)
実効長	218.0 $\frac{mm}{m}$
オーバーハング	13.0 $\frac{mm}{m}$
ヘッドシェル	脱着可 カートリッジ取付EIA

針圧調整機構

直読方式・0～3g調整可(0.5gステップ)
(ヘビーカートリッジ用サブウエイト付)

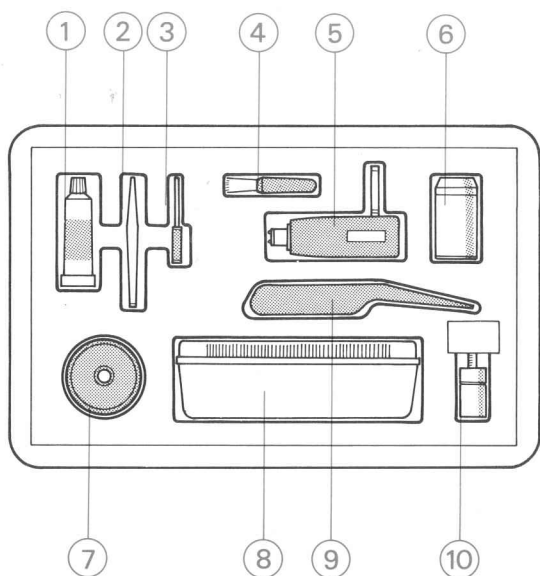
■カートリッジ

型式	MM型・シュアーM75シリーズ(M75B)
針先	ダイヤモンド 0.6mil(交換可)
交換針	シュアーN75ー
適正針圧	2.5g
最適負荷抵抗	47K Ω

■その他

付属機構	オートリターン オートカット アンチスキーター
消費電力	15W
寸法 (W×H×D)	440×155×383 $\frac{mm}{m}$
重量	8.4Kg

●上記の規格及び外観は改良のため予告なく変更されることがございます。



●付属品・メンテナンスボックス

①ヤマハクリーナー

アクリル蓋用クリーナーです。レコードには使用しないでください。

②ピンセット

カートリッジをシェルに取付けるとき、ピンリード着脱にお使いください。

③小ドライバー

④針先掃除用ハケ

⑤ヘッドシェル (シュアーM75シリーズ・カートリッジつき)

⑥メインウエイト

⑦45回転ドーナツ盤用アダプター

⑧レコードクリーナー (小ブラシつき)

ケース内の小ブラシはレコードクリーナーのモケット(布)部分の清掃用で、針先の掃除には使用しないでください。

⑨オイル

モーター用オイルで、注油については11頁を参照してください。

⑩サブウエイト (2ヶ1組)

自重の重いカートリッジ用で、付属のシュアーM75シリーズ・カートリッジには使用しないでください。(P10)

特長・ご使用になる前に



●特長

- 精巧なダブルフロートサスペンション (MVO) の採用と、ベルトドライブ方式の採用によって高いSN比48dB 以上を得ています。
- カートリッジには世界的に定評ある名器シュアーM-75シリーズが採用され、すぐれた音質を保証しています。
- 高精度の工作技術によって裏づけされたメカニズムは安定し

た動作が保証されています。ワンタッチ操作のオート機構も組込まれています。

- 国際規格のシェル交換方式、トレース能力の高いトーンアーム、アンチスケーターなど高級機にふさわしい装備です。
- 定評あるヤマハの木工技術と新感覚のデザインを盛りこんだ美しい仕上げのプレーヤーです。

●次のことにご注意ください

- プレーヤー内部に取りつけてある輸送用固定赤ネジ5本は、プレーヤー組立ての前に必ず外してください。また組立、調整はこの取扱説明書の順序通りに行なってください。
- プレーヤーの設置場所には、水平で振動の少ない場所を選び、直射日光の当たる場所や湿気の多い場所、ホコリの多い場所は避けてください。
- 再生中に、再生音の空気振動や床の振動をプレーヤーが拾いハウリングを起こす場合があります。設置にあたっては、なるべくスピーカーの影響を受けないようにご注意ください。
- カートリッジがアンプの電源トランスから「ブーン」というハム雑音を拾う場合があります。カートリッジと電源トランスが接近しないような位置をお選びください。
- 針圧は使用カートリッジの適正針圧に合わせてご使用くだ

さい。またレコード演奏の際にカートリッジの針カバーを必ず上げてください。

- 針先のゴミには常にご注意ください。針先についたホコリは音質を悪化させます。
- 木製キャビネットやアクリルカバーをシンナー系の液体で拭いたり、シンナー系の殺虫剤等をプレーヤーの近くで散布したりすることは避けてください。掃除する場合は、柔らかい布で乾拭きするようにしてください。
- お買い上げいただきました際購入店で必ず保証書の手続きを行なってください。保証期間中にもかかわらず保証書に販売店印がありませんと、万一サービスの必要がある場合に実費をいただくこととなりますので、ご了承の上十分ご注意ください。よろしくお願いいたします。



プレーヤーの組立てにあたって

● 輸送用固定赤ネジの取外し

プレーヤーの組立てと調整を始める前に、次の事を必ず行なってください。なお電源コードはプレーヤーの組立てが終るまでコンセントに差し込まないでください。

①本機では図1の5ヶ所を輸送用固定ネジで固定してあります。

〔図1〕

②図2のように金具と共に5ヶ所の輸送用固定ネジを外します。

〔注〕尚、固定ネジは引っ越しなど再輸送する時必要ですので保存しておいてください。

● ターンテーブルをはめる前に

輸送用固定ネジ5本を取除いて、ターンテーブルをセンターシャフトにはめる前に、次のような操作をしてください。

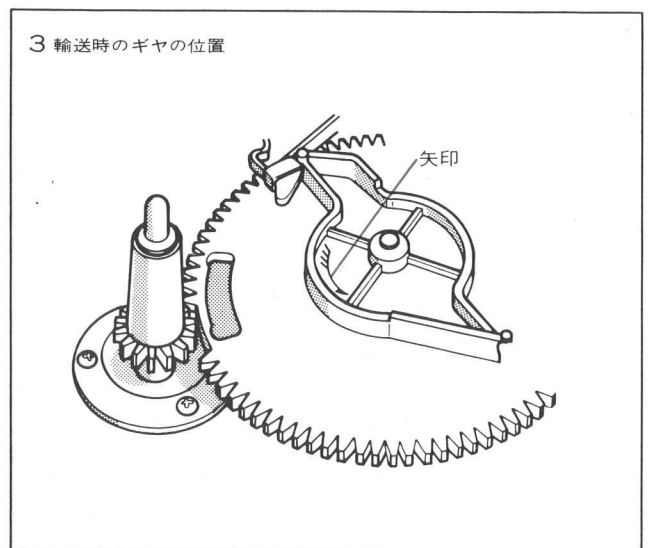
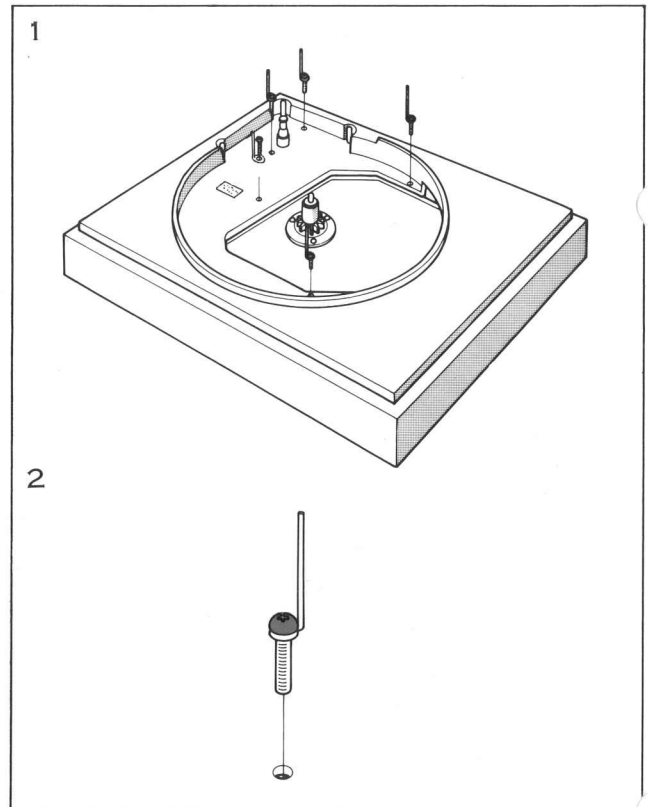
①輸送時の保護のため、オートリターン機構ギヤは図3のように矢印がセンターシャフトの傍にくるようにセットされています。この時ギヤはPLAY状態です。

②プレーヤーパネル右端のPLAY & OFFスイッチを押してください。

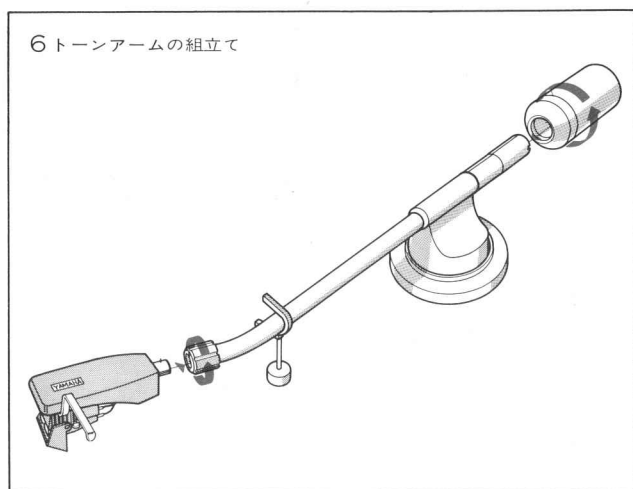
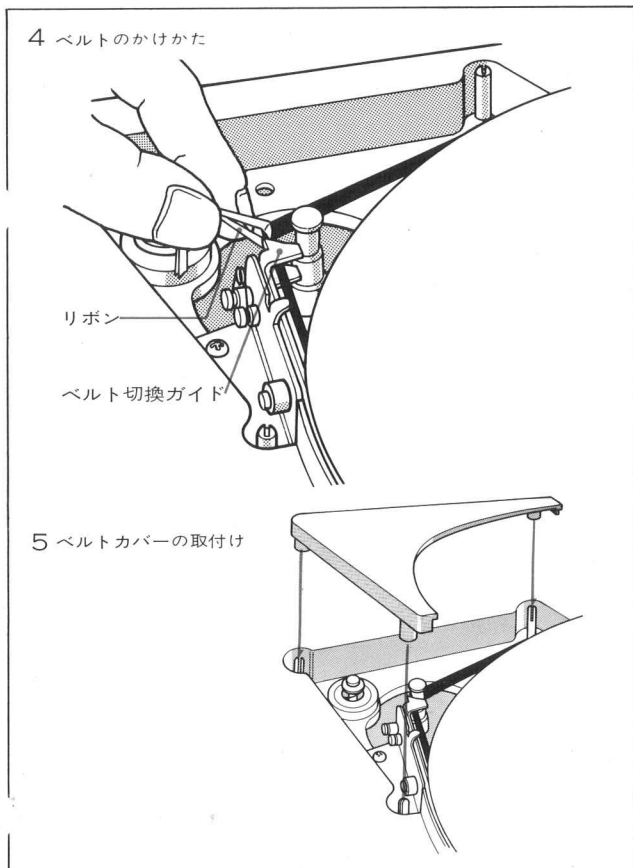
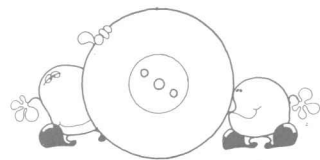
③オートリターン機構の円板が少し回って、センターシャフトギヤと噛み合います。

④この操作のあとでセンターシャフトにターンテーブルをはめ、モータープーリーに駆動ベルトをかけてください。

以上のような操作をしておくとプレーヤー組立て後に電源を入れた時、ターンテーブルは少し回って停止し、すぐに使用可能な状態になります。



ベルトのかけかた・トーンアームの組立



●ベルトのかけかた

駆動用ベルトは、ターンテーブルの外周にかけられていて、その一端にリボンがはさまれた状態で梱包されています。

- ① プレーヤーパネル左端のスピード切替スイッチを33の方に押し、ベルト切替ガイドが上にあがります。
- ② 図4のようにベルトにはさまれたリボンの両端を引張ってベルトを伸ばし、ベルト切替ガイドの間を通してモータープーリーの上側にベルトをかけ、リボンを外します。
- ③ ベルトカバーを図5のように固定ピンを合わせてはめこんでください。

(注)ベルトは、必ずベルト切替ガイドの間を通してかけてください。又ベルトがねじれないようご注意ください。

●トーンアームの組立

■メインウェイトの取付け

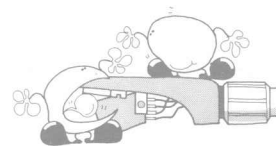
- ① メンテナンスボックスに梱包されているメインウェイトを、図6のようにトーンアーム尾部に矢印の方向に回しながら押し込みます。
- ② メインウェイト内部に刻まれた螺旋溝とアーム尾部のストッパーがかみ合い、メインウェイトは、アームを正面からみて反時計方向(左)に回すとトーンアーム基部の(前)に、時計方向(右)に回すと尾部の方(後)にスムーズに移動するようになります。

■ヘッドシェル取付け

- ① 図6のようにヘッドシェルの尾部をトーンアーム先端のソケットへ、ヘッドシェルのピンとトーンアームソケットのスリットを合わせてさしこみ、トーンアーム先端外側のロックナットを反時計方向(左)へ回してしっかり締めてトーンアームに固定してください。

(注)ヘッドシェルの取付けの際は、針先の保護のため針カバーは上げないでおいってください。

針圧調整のしかた



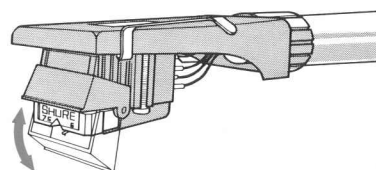
●針圧調整のしかた

トーンアームの組立てが終了しましたら次の手順で針圧の調整をしてください。付属のカートリッジ（シュアーM75シリーズ）の適正針圧は2.5gです。

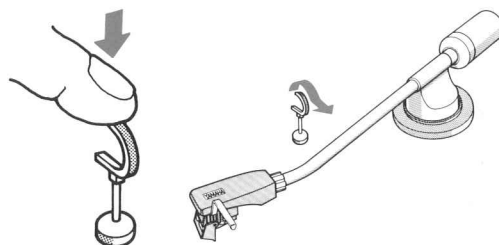
- ① 針先保護カバーを上げます。（図7）
- ② アームレスト上部を押え、トーンアームをアームレストの右側に持上げて移動させます。この操作によりトーンアームは、オート機構とアンチスケーティング機構から解除されてフリーの状態になっていますので針先をプレーヤーボードなどに接触させて傷めないように気をつけてください（図8）
- ③ トーンアームが基点を中心に水平バランスするように図9を参考にしてメインウェイトを前後させて調整します。この時メインウェイトはゆっくり回し、バランス具合をみるときはフィンガーから指を軽くはなしてみるようにして慎重に調整してください。
- ④ バランスがとれた後、トーンアームをアームレストに戻します。
- ⑤ メインウェイトが動かないように、メインウェイト前部のカウンターリングだけを回して数字の0をトーンアーム軸のセンターラインに合わせます。（図10）
- ⑥ メインウェイト後部を回しますとカウンターリングも一諸に回りますので、メインウェイトを反時計方向に回してカウンターリングの数字2.5をトーンアーム軸のセンターラインに合わせます。（図10）

以上の操作で正しい針圧がとれたわけですが、カートリッジを交換したり、誤ってメインウェイトを動かした場合は以上の操作をやりなおして針圧をとり直してください。

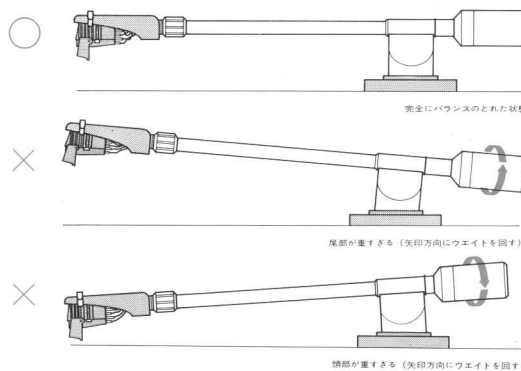
7 針先カバー



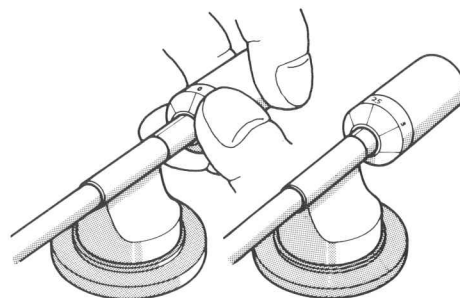
8 トーンアーム移動



9 バランスのとりかた

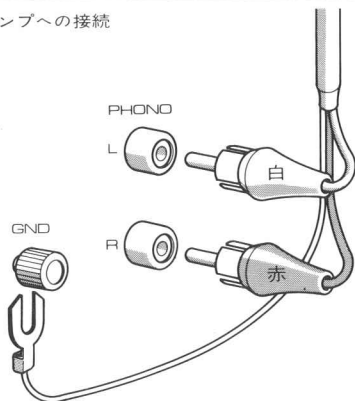


10 カウンターリングの調整





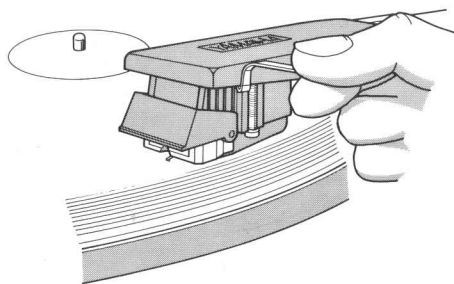
11 オーディオアンプへの接続



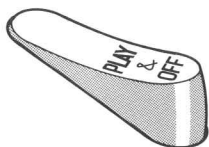
●オーディオアンプへの接続

- ①キャビネット背面より出ている出力コードのL, Rを間違えないように、アンプリアパネル面PHONO端子へ接続します。ピンプラグ白がLチャンネル, 赤がRチャンネルです。
- ②出力コードより出ている黒のアース線をアンプのGND端子へ接続します。場合によっては接続しない方がいむに対してよい結果を得られることがあります。(図11)
- ③プレーヤーの電源プラグをA.C.コンセント(又はアンプリアパネル面子備電源コンセント)に接続します。

12 レコード演奏のしかた



13 PLAY & OFFスイッチ



●レコード演奏のしかた

- ①接続したオーディオアンプのファンクションスイッチをPHONOにします。
 - ②演奏するレコードをターンテーブルに乗せます。レコードがドーナツ盤の場合は、メンテナンスボックス内の45RPMアダプターを使用してターンテーブルに乗せます。
 - ③トーンアームのカートリッジの針先をレコード面上のお聴きになりたい位置にもってゆきます。(図12)
 - ④PLAY&OFFスイッチを押し、ターンテーブルが回り始めましたら回転数がレコードの回転数に合っているかどうかを確認し、違っている場合は、スピード切換スイッチを正しい回転数に合わせます。(図13)
 - ⑤ターンテーブルが回り始めた後、アームは静かにレコード面上に降りレコード演奏がはじまります。レコード演奏が終わると自動的に針先はレコード面より離れてトーンアームがアームレストに戻りターンテーブルも停止します。
- レコード演奏を途中でやめたいときは……
- レコード演奏を途中でやめたいときは、PLAY & OFFスイッチを押ししてください。トーンアームは自動的にレコード面より離れ、アームレストに戻りターンテーブルも停止します。

他のカートリッジを使用するときは……



●他のカートリッジを使用するときは……

トーンアームのヘッドシェルは交換可能ですので、EIA規格のヘッドシェルなら付属のものと交換して使用することができます。

■使用できるカートリッジの寸法

ヤマハスペアシェルHS-600Sを使用する場合は、カートリッジの高さが13.5～18.5mm以内のもの(図14)、他のシェルを使う場合は、ヘッドシェル上面から針先までの寸法が18～23mm以内のものなら使用できます。(図15) この範囲以上のものはレコード面を擦ることがあります。

■使用できるカートリッジの自重とサブウェイトの使いかた。

シェルとカートリッジを合わせた全重量が18～27gまでのものが使用できます。又全重量が22g以上の場合は、付属のサブウェイトを取付けて使用できますが、重量が27gを越すものは使用できません。サブウェイトはA、B一組になっていますのでカートリッジの重さによって組み合わせをかえて次のように取付けて使用してください。(図16)

- ①メインウェイトを取外します。
- ②サブウェイトをトーンアーム尾部にねじ込みます。
- ③再びメインウェイトを取付けます。
- ④針圧を針圧の調整のしかたの項に従って正しくとります。

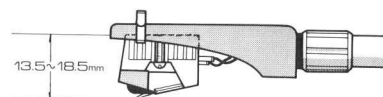
■ヘッドシェルへの取付け

シェル内のリード線は図17のようになっていますのでカートリッジの各ピンに正しく接続してください。

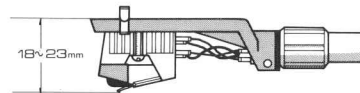
■オーバーハングの寸法

トーンアームのオーバーハングは13.0mmに設計されています。ヤマハスペアシェルHS-600Sなら取付穴が図17のようにA、B2ヶ所ありますので取付カートリッジの寸法によってオーバーハングが図18のように13.0mmに近くなる方の取付穴をえらんでください。

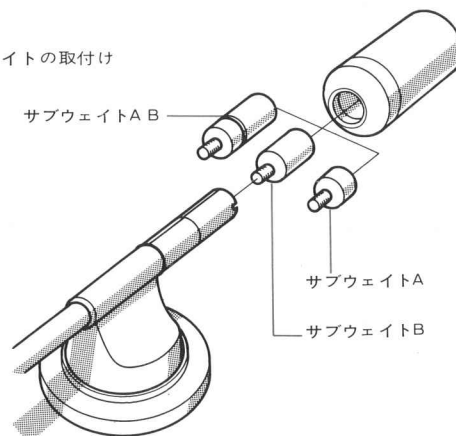
14 ヤマハヘッドシェルの場合の寸法



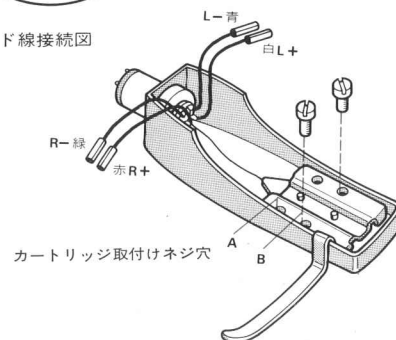
15 他のヘッドシェルの場合の寸法



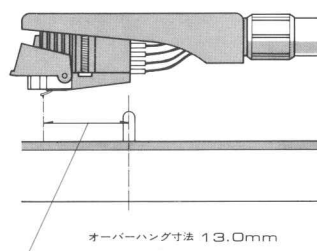
16 サブウェイトの取付け



17 ヘッドシェルリード線接続図

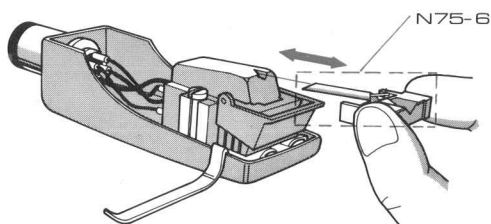


18 オーバーハング

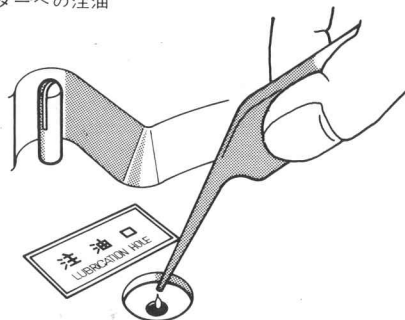




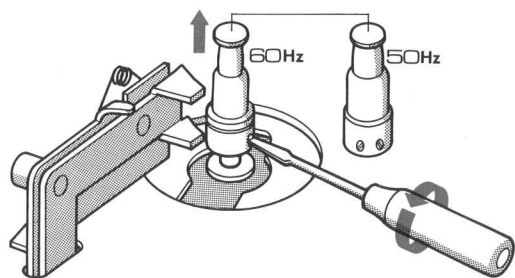
19 針先の交換



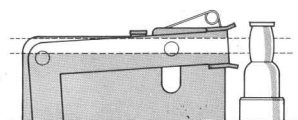
20 モーターへの注油



21 プーリーの交換



22 プーリー取付位置



●針先の寿命と交換のしかた

針先はダイヤ針を使用しています。寿命はご使用になるレコードの状態によって異なりますが、200～300時間が平均です。針先が磨耗すると音が歪んだりビリついたりする上レコードを傷める原因にもなりますので、針先は早めに交換してください。交換針はヤマハステレオ特約店に用意されていますので、YP-400用・シュア-N75-6 とご指定ください。

■針先の交換

- ① トーンアームからヘッドシェルを取外します。
- ② 古い針先ホルダーを手前に引いて取外します。(図19)
- ③ 新しい針先を②と逆の方法でしっかりさしこみます。
- ④ ヘッドシェルをトーンアームに取付けます。

●モーターへの注油について

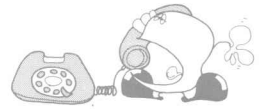
付属のオイルで図20の注油孔とターンテーブルセンターシャフトへ1年に1～2滴注油してください。この時あまりたくさん注油しないように注意してください。

●異なる電源周波数地域で ご使用になるときは……

お買い求めの後に移転などで異なる電源周波数地域でご使用になる時は、モータープーリーを交換してください。交換するモータープーリーは、プレーヤー本体に内蔵されています。

- ① ターンテーブルを外し図21のようにモータープーリー側面の2本のネジをゆるめて上に引張り外します。
- ② 新しい交換用モータープーリー（60Hz用には溝が刻んであります）をはめます。
- ③ ベルト切替ガイドを33回転の状態にした時、ベルトがベルト切替ガイドに触れない位置にプーリーを固定します。(図22)
手のよごれや油がプーリーに付着しないようにご注意ください。

故障と思われる時には……



本機をご使用中に正常に動作しなくなった時は、次の事項をご確認ください。そのうえで正常に動作しない、あるいは疑

問の点がございましたら、お買上げ店又は日本楽器各支店のオーディオ技術係にサービスをご依頼ください。

症 状	原 因	処 置
PLAY & OFFスイッチを押してもターンテーブルが回転しない	電源コードが電灯線コンセントにしっかり差込まれていない	コンセントにしっかり差込み直す
	ベルトをかけ忘れている	ベルトをモータープーリーにかける
	ベルトがはずれている	ベルトをターンテーブル、モータープーリーにかける
	ベルトが切れている	ベルトを交換する
レコード面に針先を降ろしても音が出ない	アンプとの接続が不完全	ピンコードの接続を確認する
	交換したカートリッジの寸法が適切でないため、カートリッジの腹がレコード面に当たっている	適切な寸法のカートリッジに付け直す （“他カートリッジを使用するとき”の項参照）
ターンテーブルの回転が遅かったり、回転ムラ（ワウ・フラッター）が起こる	ターンテーブル外周やモータープーリー、ベルトなどに油が付着してスリップしている	油などで汚れている部分を無水アルコールなどで、きれいに清掃する
	ベルトが伸びている	ベルトを交換する

スピーカーからモーター音が聞こえる	プレーヤー組立の際に輸送用固定ネジ5本を取り除いていない	輸送用固定ネジを取り除く （“輸送用固定ネジの取外し”の項参照）
再生音がひずんでいて聴きにくいまたは、“チリチリ”“パチパチ”という音がして煩わしかったり、特に高音域がひずんで汚ない	プレーヤーが水平でなく傾いている	水平に設置し直す
	針先にホコリなどが付着している	針先掃除ハケできれいにする
	針先が磨耗している	針先を交換する
	レコード自体が傷んでいたり、ホコリやゴミがついている	レコードを新しいものと交換してみる
	針圧が軽すぎるか、重すぎる	使用カートリッジの適正針圧に調整し直す
	接続しているアンプの高音（TREBLE）を上げすぎている	高音（TREBLE）をFLATポジションに戻してみる

レコード演奏のとき、“ブーン”というハム音が入る	プレーヤーのアース線をアンプのアース端子に接続していない	アース線をアース端子に接続する （接続しない方がいい場合もある）
再生音がふるえたり、ハウリング（“ボウーン”という音）を起して聴きにくい	プレーヤーとスピーカーシステムの設置場所が近すぎたり、不安定で、振動が伝わったり、共振している	しっかりした場所に移したり、スピーカーから遠ざけるなど設置場所を変えてみる
	接続しているアンプの低音（BASS）を上げすぎている（あるいはラウドネスをかけすぎている）	低音（BASS）をFLATポジションに戻してみる （ラウドネスを絞るかOFFにする）
	狭い部屋で極端に再生音を大きくしている	VOLUMEを絞って再生音を小さくする
スピードが切換わらなかつたり、オートリターン機構がうまく動作しない	ベルトをベルト切換ガイドに通していない	ベルト切換ベルトをガイドに通す
オートリターン機構が早く働いてレコード演奏が中断されてしまったり、レコードによってオートリターン機構が働いたり働かなかつたりする	他のレコードでも同様な現象が起こる場合は、プレーヤーの調整不良	日本楽器各支店オーディオ技術係に相談する
	そのレコードだけの症状ならば、センターホールが偏心しているか、レコードが規格から外れている	レコードを交換してみる

サービスのご依頼について

●サービスのご依頼は、お買上げ店、または日本楽器各支店オーディオ技術係へお願い致します。

■支店への持込み修理

故障の場合、出張サービスのご依頼をなさらずに、直接ご自分でお買上店又は最寄りのヤマハ各支店へお持ちいただければ、出張料などの経費の点でお得ですし短期間でおなおしすることができます。裏表紙のヤマハ各支店の住所と電話番号をご参照ください。

■サービスをご依頼される前に

ご使用中に“故障ではないか？”とお思いになる点がございましたら、まず“故障と思われる時には……”の項をお読みになってください。故障ではなく、ご自分でかんたんにおなおしになれる場合もあると思います。（ご依頼をお受けしてお伺いしますと、故障ではない場合でも点検代と出張費を頂戴させていただきます）

■サービスのご依頼

サービスをご依頼なさるときは、お名前、お住まい、電話番号をハッキリお知らせください。またお勤めで昼間ご不在の方は、お勤め先の電話番号、もしくは連絡方法をお知らせください。（ステレオの具合をもう少しわしくおたずねしたいときや、万一やむをえぬ事情によってお約束を変更しなければならないようなときに、お客様にご迷惑をおかけしないですみます）

■故障の状態はくわしく

サービスをご依頼なさるときは、故障の状態をできるだけくわしくお知らせください。またステレオの型番、製造番号などもあわせてお知らせください。（サービスにお伺いする際、あらかじめ補修部品などを手配し、二度お伺いしななければならないようなご迷惑をおかけすることがありません）

■サービスのお約束

お仕事の関係で昼間ご不在がちのお客様や留守勝ちのお客様は、できるだけお伺いする日時を事前にお約束させて頂

きたく存じます。万一、お約束した日時にご都合が悪くなられましたら、できるだけおはやくご連絡くださるようお願い致します。（事前にご連絡をいただきませんと、ご不在の場合でも、出張料を頂戴いたしますので、ご注意ください）

■保証期間の1ヵ年を過ぎましても有償にて責任をもってサービスを実施致します。尚補修用性能部品の保有期間は8年となっております。

■万一お買上店でのごサービスについてのご不満又は製品の不調や疑問がございましたら、ご面倒ではございますが、下記ヤマハ各支店オーディオ技術係にご連絡くださいますようお願い致します。

■各支店住所（オーディオ技術係）

本社・〒430	浜松市中沢町10-1（電音サービス課） TEL（0534）61-1111（大代表）
東京支店・〒104	東京都中央区銀座7-9-18（パールビル内） TEL（03）572-3111
大阪支店・〒542	大阪市南区日本橋1-23（日本一ビル内） TEL（06）643-3874
名古屋支店・〒460	名古屋市中区錦1-18-28 TEL（052）201-5141
九州支店・〒812	福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL（092）472-2151
北海道支店・〒064	札幌市中央区南十条西1丁目（ヤマハセンター内） TEL（011）512-6111
仙台支店・〒980	仙台市一番町2-6-5 TEL（0222）27-8511
広島支店・〒731-01	広島市祇園町西原862（技術センターニシリック内） TEL（08287）4-3787
浜松支店・〒430	浜松市鍛冶町122 TEL（0534）54-4111

日本楽器製造株式会社

- 本社・工場 〒430・浜松市中沢町10-1
TEL・0534(61)1111
- 東京支店 〒104・東京都中央区銀座7-9-18/パールビル内
TEL・03(572)3111
- 銀座店 〒104・東京都中央区銀座7-9-14
TEL・03(572)3111
- 渋谷店 〒150・東京都渋谷区道玄坂2-10-7
TEL・03(463)4221
- 池袋店 〒171・東京都豊島区南池袋1-24-2
TEL・03(981)5271
- 横浜店 〒220・横浜市西区南幸2-15-13
TEL・045(311)1201
- ジョイナス
ヤマハ店 〒220・横浜市西区南幸1-5-1
TEL・045(311)6361~4
- 千葉店 〒280・千葉市中央4-2-1/まつだやビル内
TEL・0472(24)6111
- 大阪支店 〒564・吹田市新普屋下1-16
TEL・06(877)5151
- 心齋橋店 〒542・大阪市南区心齋橋筋2-39
TEL・06(211)8331
- 梅田店 〒530・大阪市北区梅田1/阪神百貨店5階
TEL・06(345)4731
- 神戸店 〒650・神戸市生田区元町通り2-188
TEL・078(321)1191
- 四国店 〒760・高松市丸亀町8-7
TEL・0878(51)7777
- 名古屋支店 〒460・名古屋市中区錦1-18-28
TEL・052(201)5141
- 九州支店 〒812・福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL・092(472)2151
- 福岡店 〒810・福岡市中央区天神1-11/福岡ビル内
TEL・092(721)7621
- 小倉店 〒803・北九州市小倉区魚町1-1-1
TEL・093(531)4331
- 北海道支店 〒064・札幌市中央区南十条西1丁目/ヤマハセンター
TEL・011(512)6111
- 仙台支店 〒980・仙台市1番町2-6-5
TEL・0222(27)8511
- 広島支店 〒730・広島市紙屋町1-1-18
TEL・0822(48)4511
- 浜松支店 〒430・浜松市鍛冶町122
TEL・0534(54)4111
- 海外支店 ロスアンゼルス・メキシコ・ハンブルグ・
シンガポール・フィリピン